

第22期中間決算公告

2026年9月10日

東京都中央区八重洲二丁目1番1号 YANMAR-TOKYO 7階

ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行 東京支店

Banco Bilbao Vizcaya Argentaria, S.A.

日本における代表者： 嶋田 訓弘

中間貸借対照表 (2026年6月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
現 金 預 け 金	3,924	預 金	1,796
コ ー ル ロ ー ン	-	譲 渡 性 預 金	-
買 現 先 勘 定	-	コ ー ル マ ネ ー	-
債券貸借取引支払保証金	-	売 現 先 勘 定	-
買 入 手 形	-	債券貸借取引受入担保金	-
買 入 金 銭 債 権	-	売 渡 手 形	-
商 品 有 価 証 券	-	コマーシャル・ペーパー	-
金 銭 の 信 託	-	借 用 金	-
有 価 証 券	-	外 国 為 替	-
貸 出 金	213,734	そ の 他 負 債	1,284
外 国 為 替	247	未 払 法 人 税 等	224
そ の 他 資 産	535	リ ー ス 債 務	-
リース投資資産	-	資 産 除 去 債 務	-
そ の 他 の 資 産	110	そ の 他 の 負 債	6
有 形 固 定 資 産	102	賞 与 引 当 金	15
無 形 固 定 資 産	22	退 職 給 付 引 当 金	37
前 払 年 金 費 用	-	特 別 法 上 の 引 当 金	-
繰 延 税 金 資 産	-	繰 延 税 金 負 債	-
支 払 承 諾 見 返	713	支 払 承 諾	713
貸 倒 引 当 金	△ 972	本 支 店 勘 定	214,696
本 支 店 勘 定	2,024	小 計	218,544
		持 込 資 本 金	3,300
		中 間 繰 越 利 益 剰 余 金	△ 1,511
		その他有価証券評価差額金	-
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	-
		土 地 再 評 価 差 額 金	-
合 計	220,332	合 計	220,332

中 間 損 益 計 算 書 { 2026年1月1日から
2026年6月30日まで }

(単位: 百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	4,685
資 金 運 用 収 益	4,446
(うち貸出金利息)	(4,407)
(うち有価証券利息配当金)	(-)
役 務 取 引 等 収 益	231
そ の 他 業 務 収 益	8
そ の 他 経 常 収 益	-
経 常 費 用	3,719
資 金 調 達 費 用	3,347
(うち預金利息)	(0)
役 務 取 引 等 費 用	1
そ の 他 業 務 費 用	-
営 業 経 費	250
そ の 他 経 常 費 用	120
経 常 利 益	966
(又は経常損失)	-
特 別 利 益	-
特 別 損 失	-
税 引 前 中 間 純 利 益	966
(又は税引前中間純損失)	-
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	276
法 人 税 等 調 整 額	-
法 人 税 等 合 計	276
中 間 純 利 益	689
(又は中間純損失)	-
繰越利益剰余金(当期首残高)	△ 2,201
本 店 へ の 送 金	-
(本店からの補填金)	-
中 間 繰 越 利 益 剰 余 金	△ 1,511

注記事項

- (1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- (2) 会計方針に関する事項
 - ① 有形固定資産の減価償却の方法：定額法を採用しております。
 - ② 外貨建資産等の本邦通貨への換算基準：外貨建資産・負債は決算日の為替相場による円換算額を付しております。
 - ③ 貸倒引当金の計上方法は、当行の経理規定により、正常先債権及び要注意先債権に対する引当金は本店において一括して計上しております。正常先債権及び要注意先債権以外の債権に対する引当金は個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上いたします。
 - ④ 退職給付引当金の計上方法：従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、必要額を計上しております。
- (3) 債権のうち、破産更生債権及びこれらに準ずる債権は654百万円、危険債権、三月以上延滞債権、貸出条件緩和債権は該当無しであり、その合計額は654百万円であります。
- (4) 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸し付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は、49,112百万円であります。このうち契約残存期間が1年以内のものは32,887百万円であります。
- (5) 有形固定資産の減価償却累計額 23百万円

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

東京支店では、貸出金、外国為替（貿易取引）等を取り扱う銀行業務を行っております。当該業務にあたり、東京支店では運用と調達を通貨、元本金額及び利受け期間について一本ずつマッチさせて管理しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

東京支店では国内外の顧客に対する貸付金等の金融商品を保有しており、顧客の契約不履行によってもたらされる信用リスク並びに金利の変動リスク、市場価格の変動リスク等の市場リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 信用リスクの管理

貸付金は、本店リスク管理部門が定めた信用リスク管理に関する内部規定に従い、同部門が構築した信用リスク評価モデルを用いて、信用リスクを評価しています。東京支店では香港クレジット部のサポートの下、信用リスクの最新状況を把握し管理しています。

② 市場リスクの管理

東京支店では資産に対し通貨、元本金額及び利受け期間について一本ずつマッチさせた調達を実行することにより市場リスクを回避しております。

③ 資金調達に係る流動性リスクの管理

東京支店では、資産に対し通貨、元本金額及び利受け期間について一本ずつマッチさせた資金調達を当行本支店から行うことを基本としており、これにより流動性リスクを回避しております。また、急な円資金の需要に対応できるよう国内銀行に借入枠を設定しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2026年6月30日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は、次のとおりであります。

(百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金預け金	3,924	3,924	—
(2) 買入金銭債権	—	—	—
(3) 貸出金	213,734	213,080	654
(4) 外国為替	247	247	—
(5) 本支店勘定	2,024	2,024	—
資産計	219,931	219,277	654
(1) 預金	1,796	1,796	—
(2) 本支店勘定	214,696	214,696	—
負債計	216,493	216,493	—

(*) デリバティブ取引はありません。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金預け金

満期のない預け金については、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(2) 買入金銭債権

買入金銭債権については、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(3) 貸出金

貸出金のうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映するため、貸出先の信用状態が実行後大きく異ならない限り、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。固定金利によるものは、貸出金の種類及び内部格付、期間に基づく区分ごとに、元利金の合計額を同様の新規貸出を行った場合に想定される利率で割り引いて時価を算定しております。なお、残存期間が短期間（1年以内）のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

また、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等については、見積将来キャッシュ・フローの現在価値又は担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額を時価としております。

(4) 外国為替

外国為替は、他の銀行に対する満期のない預け金（外国他店預け）であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(5) 本支店勘定

本支店勘定は満期のない預け金及び約定期間が短期間（1年以内）であり、それぞれ時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

負 債

(1) 預金

預金については、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(2) 本支店勘定

本支店勘定は当行本店からの長短期の借入金です。変動金利による長期借入金については、短期間で市場金利を反映していることから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としております。固定金利によるものは、一定の期間ごとに区分した当該長期借入金の元利金の合計額を同様の借入において想定される利率で割り引いて現在価値を算定しております。短期借入金は約定期間が短期間（1年以内）であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(注2) 金銭債権の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
現金預け金	3,924	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—
貸出金	66,087	60,807	4,324	—	—	82,515
外国為替	247	—	—	—	—	—
本支店勘定	2,024	—	—	—	—	—
合計	72,283	60,807	4,324	—	—	82,515

(*) 現金預け金、外国為替及び本支店勘定のうち満期のない預け金については、「1年以内」に含めて開示しております。

(注3) 金銭債務の決算日後の返済予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
預金	1,796	—	—	—	—	—
本支店勘定	214,696	—	—	—	—	—
合計	216,493	—	—	—	—	—